

平成29年度 第32回兵庫県クラブユースサッカー選手権（U-15）大会

決勝 サルパ 対 神戸FC（場所：アスパ五色）

結果 サルパ 2-5（1-2）神戸FC

優勝 神戸FC

第2位 サルパ

最優秀選手 林 憲太朗（神戸FC）

所感：

神戸FCの攻撃に対し、サルパは4-1-4-1から守備的にブロックを形成し対応する展開。序盤の13分に神戸FCが右からのクロスに眞古⑦がヘディングで合わせ先制。対するサルパも少しずつ前線からのプレスをかけはじめ、高い位置でボールを奪うと27分に三好⑧の見事なループシュートで同点に。一進一退の時間が続き、勝負は後半かと思わせた35分、神戸FCはカウンターから、矢野⑨の25mのスーパーミドルがゴールを突きさし、再度勝ち越し、前半を終える。後半に入ると、中盤で藤田⑩を攻撃の起点としチャンスを伺うサルパに対し、神戸FCが前線のスピードと中央で岡田⑩の展開力による本来得意とするカウンター攻撃が、幾度となくサルパのゴール前を脅かす。攻撃の手を緩めない神戸FCは後半5分、7分、27分と立て続けに追加点を奪い、勝利をほぼ手中にした。残り10分で一点を返すのにとどまったサルパは、前線のプレスと最終ラインの押し上げのタイミングが合わず、相手にスペースを与えてしまっていた時間が悔やまれた。

3位決定戦（エベユ 対 センアーノ）と決勝戦を見た限り、ある程度決められた戦術の中でも個人の特徴をスポイルさせることなく、選手のアイディア、判断を尊重したコーチングには共感させられた。ただし6月からスタートする関西大会では厳しい戦いが予想される中、ボールを奪う意識と強度、攻撃時に判断を持って人数をかけていく意識と運動量、それぞれのレベルアップの必要性を感じた。

兵庫県クラブユース連盟理事 菊池 彰人